

みずほCustomer Desk Report 2019/01/21号(As of 2019/01/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.36 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.15	1.1392	124.33	1.2980	0.7193
SYD-NY High	109.89	1.1410	124.97	1.2994	0.7215
SYD-NY Low	109.06	1.1353	124.28	1.2858	0.7163
NY 5:00 PM	109.78	1.1361	124.71	1.2871	0.7164
NY DOW	24,706.35	336.25	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,157.23	72.77	日本10年債	0.0100	0.00bp
S&P	2,670.71	34.75	米国2年債	2.61	4.50
日経平均	20,666.07	263.80	米国5年債	2.62	4.90
TOPIX	1,557.59	14.39	米国10年債	2.79	3.74
ソコ日経先物	20,950.00	435.00	独10年債	0.2615	2.00bp
ロンドンFT	6,968.33	133.41	英10年債	1.35	1.65
DAX	11,205.54	286.92	豪10年債	2.3125	2.95bp
ハンセン指数	27,090.81	335.18	USDJPY 1M Vol	6.88	▲0.29%
上海総合	2,596.01	36.37	USDJPY 3M Vol	7.57	▲0.17%
NY金	1,282.60	▲9.70	USDJPY 6M Vol	7.88	▲0.15%
WTI	54.04	1.97	USDJPY 1M 25RR	-1.13	Yen Call Over
CRB指数	182.21	2.46	EURJPY 3M Vol	8.23	▲0.18%
ドルインデックス	96.34	0.27	EURJPY 6M Vol	8.60	▲0.13%

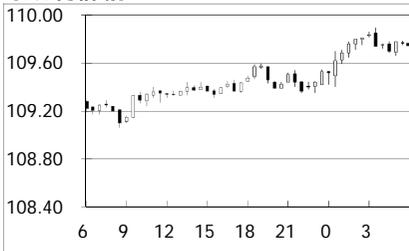
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月18日	8:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	12月 0.3%/0.7%/0.3%	0.3%/0.8%/0.3%
	23:05	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁「FRB、忍耐強く指標を基に政策判断すべき」		
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	12月 0.3%	0.2%
1月19日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド	1月 90.7	96.8
	1:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁「米経済は非常に好調」		

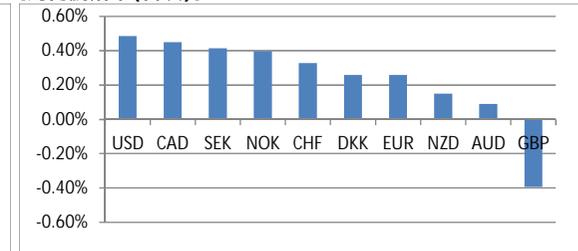
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月21日	11:00	中 小売売上高(前年比)	12月 8.1%	8.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	12月 5.3%	5.4%
	11:00	中 GDP(前年比)	4Q 6.4%	6.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1300-1.1420	123.50-125.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円は上昇。世界的に株式市場が堅調に推移する中、米国が対中関税の引き下げを検討している事や、米中貿易協議の継続協議を巡り今月末に中国の副首相が訪米を予定していること等を背景にドル円は底堅い展開に。本日のドル円相場も、米中貿易摩擦の改善期待を背景に、マーケットのリスクセンチメントが改善している中、ドル円は底堅い展開が継続しそう。節目となる110円を突破できるかに注目。

東京	東京時間を109.15レベルでスタートしたドル円は、米中の通商問題を巡る緊張緩和期待等を背景にじり高の展開に。アジア株の堅調な推移にもサポートされ、109円台前半での底堅い推移に終始し、109.34レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.34レベルでオープン。米国が対中関税の引き下げを検討している事や、中国の劉鶴副首相が、米中貿易協議の継続協議を巡り今月末に訪米を予定していることを背景に、ドル円に対して上昇基調で推移。一時109.59まで上昇する局面もあったが、結局109.41レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2985レベルでオープン。英国家統計局から2018年度、第4半期の小売売上高がマイナス0.9%(予想-0.8%)となったことからポンド売りとなり、軟調に推移。1.2938レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は109.41レベルでNYオープン。朝方は、米12月鉱工業生産が予想を上回る一方、前回分が下方修正され、続いて発表の1月ミシガン大学消費者信頼感指数が現況指数、期待指数が予想を下回り、ドル円は上値を抑えられるが、中国が米国との貿易不均衡を正に向けた道筋を提示とのヘッドラインを受け、ドル円は109.70まで急伸する。その後も関係筋の話として、昨年3230億ドルあった対米貿易黒字を、2024年までにゼロにするとの関係筋の具体的な話も伝わり、ドル円はじり高で推移し、109.89まで上昇する。午後は、米連休を控え、調整からやや小緩み、109.78レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1403レベルでNYオープン。朝方は、ウィリアムズNY連銀総裁の「状況が変わればハラスメントの方針を精査する」との発言が伝わるとドル買いが徐々に優勢となり、前述の中国に関するヘッドラインも伝わったことから、更にドル買いが強まり、ユーロドルは1.1353まで下落する。午後は週末を控えた調整から、1.1372まで戻すが、上値は重く1.1361レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・玉井